

平成 21 年 7 月 1 日

各関係機関長 殿

名古屋大学大学院国際言語文化研究科長

前野みち子（公印省略）

教員の公募について（依頼）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本研究科では、下記の要領により教員の公募を行うこととなりました。

つきましては、ご多用中まことに恐縮ですが、関係各位にご周知いただくとともに、適任者がございましたら、ご推薦くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 職 名 教授又は准教授
2. 採用人員 1 名
3. 教育内容 (1) 本研究科国際多元文化専攻メディアプロフェッショナル論講座の授業担当及び研究指導
(2) 全学教育科目（スペイン語、ドイツ語又は中国語のいずれか）の担当
4. 研究分野 ジャーナリズム及びメディア研究
5. 所 属 名古屋大学大学院国際言語文化研究科国際多元文化専攻
6. 採用時期 平成 22 年 4 月 1 日
7. 応募資格 (1) 博士の学位を有する者又は平成 21 年度中に取得見込みの者
(2) メディア分野での実務経験を有することが望ましい。
(3) 学内業務を支障なく遂行しうる日本語能力を有すること。
8. 提出書類 (1) 履歴書 1 通（様式自由、写真貼付、メールアドレス記載）
(2) 研究業績一覧表 1 通（A4 判で、公刊された著書、論文又は作品など、全業績について題目、発表年月、掲載誌名、巻号数及びページ数を記載のこと。）
(3) 教育業績一覧表 1 通（専門教育、語学教育の経験がある者はそれぞれについて、授業担当等に関して詳細に記載すること。）
(4) 主要研究業績 3 点（抜刷り、コピー可。A4 判で 800 字程度の日本語の要旨をそれぞれに添えること。）。なお、選考の過程で追加の業績提出を求める場合がある。
(5) 大学院教育（メディアプロフェッショナル論講座）への抱負（日本語で 2000 字程度）
(6) 全学教育（スペイン語、ドイツ語又は中国語）への抱負（日本語で 2000 字程度）
(7) スペイン語、ドイツ語又は中国語を母語としない者は、いずれかの語学能力を示すもの（各種証明書類、論文など）。

応募書類によって取得した個人情報、本教員選考の目的以外で利用したり、外部に提供したりすることはありません。

9. 応募締切 平成 21 年 8 月 24 日（月）（必着）
10. 選考方法 第 1 次選考 書類・業績審査
第 2 次選考 面接（交通費は自己負担）
11. 提出先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-5(700)
名古屋大学文系総務課国際言語文化研究科担当（電話 052-789-5312）
<http://www.lang.nagoya-u.ac.jp>

応募書類は必ず書留郵便とし、「メディアプロフェッショナル論講座教員応募書類在中」と朱書きすること。

12. 照会先 メディアプロフェッショナル論講座教員選考委員会 春名幹男

E-Mail: senko@lang.nagoya-u.ac.jp

* 名古屋大学大学院国際言語文化研究科では、男女共同参画を推進しています。